

社員の皆様へのメッセージ

株式会社イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2011.7
215

「鋳物国際見本市」

『GIFA 2011』がドイツのデュッセルドルフで4年に一度開催される鋳物工業会が開催する見本市です。

顔ぶれを見ますと世界中からドイツ中から出展及び勉強に見えている人が大変大勢みえました。なにせ“東京ビックサイト”の4倍くらいある大規模な見本市です。

やはり“中国専用”のイベント棟があるくらい中国企業の積極性には頭が下がります。同じ東アジアにある日本企業は数社でした。本当に日本はこれでいいのだろうかと疑問がわいてきます。(物づくりを忘れた日本人にならないように)

また、会場では若者(高校生くらい)が多く、若い女性も大変熱心に見学・勉強・鋳造技術体験をしている姿にも驚きました。

ドイツは昔から『マイスター制度』を導入しており、14才の頃に自分の進路を決定しインターンシップを活用しながらものづくり技術”を修得させ育成しているわけです。だから若者の顔が明るく、元気に楽しそうに学んでいるのが見えるわけです。

イナテックも今年から新入社員諸君を一ケ年かけて切削加工技術を徹底的に修得していただき『ものづくりができる若者』に変身していただきます。まだドイツに負けるわけにはいきません。まだ間に合うと思っております。

新入社員諸君！一緒に頑張ろう。

トイレのお話

私はお客様がおみえになる事がわかってる時には、おみえになるお客様が使われるだろうトイレを直前に使い、その時に簡単に便器のぞつきん掛けと洗面器の水滴・正面鏡を軽く拭き上げます。

それで、一安心でき会議に真剣に取り組むようにしています。

これは自分に対する「心の余裕」を持って事に当たることのように考えております。万お客様がトイレを使用されてもこちらも安心ですし、お客様も気持ちがいいわけです。自分の心も磨けてお客様も気持ちがいいし、いいビジネスができて社員の人たちも幸せになる。つまり近江商人の言われる『三方よし』ではないでしょうか。ちょっとした事で空気・空間が変貌するのです。皆さんも気づいたら試してみてください。なかなかノウハウですよ。

ありがとうの心

ある会合で一ケ年会長をやらせていただく事になり受けさせていただきました、その会長方針としていつもイナテックで申しております、『感謝(ありがとうの心)』とさせていたいただきました。(考え方として)

我々人間及び人間社会は自然環境(東日本大震災もありましたが)と共生することでは生きられませんが、自然は偉大です。勝とう

と想ってはいけないのです。人間は自然の中のごく一部なのです。我々はその一員で周りの人や自然に生かさせていただいておりません。

だからこそ身近な家族に、イナテックの社員の方々に、ありとあらゆる仲間に自然に感謝せねばならないと思っております。「ありがとう」を言い、感謝せねばならないことを意識しようという一ヶ月にしたいと思います。

たけの世界（河村武明氏からこんなメッセージをいただきました）

稲垣さま、

何があってもありがとうございます

何かなくてもありがとうございます

「この星にありがとう人間が増えたら明るい星になる」

河村武明

皆さんありがとうございます。私がこのようにペンを持っているのも皆さんのお蔭です。ありがとうございます。

合掌